

JGN II イベント利用 報告書

イベント番号(イベントー168)

提出日 2006年12月13日

(1) イベント名 (※)

第2回 日伊国際シンポジウム

(2) イベントの概要

日時：2006年12月6日(水) 15:00~20:30(日本時間)

場所：イタリア文化会館(東京)、トスカーナ州本部(イタリア フィレンツェ)

<日本会場の部 15:00~18:00>

日本会場(イタリア文化会館)単独にて、イタリア文化会館ドナーティ館長の開会の主催者挨拶に引きつづき、高草茂・日伊協会顧問による特別講演、会場ホワイエにてポスターセッション(展示)を行った。ポスターセッションでは、京都府、石川県、フィレンツェ大学 MICC、(株)日立製作所による計7点の展示が行われ、出展者と来場者との活発な意見交換がなされた。

<リアルタイム・ディスカッション 18:00~20:30>

日本-イタリアの両会場を JGN を始めとした学術ネットワークを用いて接続した、遠隔シンポジウムを開催した。「Nuove Tecnologie sulle Vie della Cultura /創造と再生」というタイトルのもと、日伊の文化と技術、今後の日伊の国際交流のあり方について、フェデリコ・ジェリ・トスカーナ州副知事、室伏稔・伊藤忠商事(株)相談役を初めとした、各界のスペシャリストによる講演を頂き、DVTS の画質やネットワーク品質に対して、大変好評を頂きました。

日本会場(約120名)、イタリア会場(約80名)あわせ総勢200名余りの一般参加者を集め、盛況のうちに閉幕する事が出来ました。

(3) JGN2 利用の概要

日本会場から WIDE Project ネットワークを介してイタリア会場までを接続する際、JGN2 大手町 NOC への Layer2 接続を利用した。また日本会場からのスタッフコミュニケーション用インターネットとして、JGN2 大手町 NOC からの Layer3 接続を利用した。その他、学術ネットワーク網(WIDE, APAN, TEIN2, GEANT, GARR, RTRT)への経路制御のコーディネーション、及び通信テストや本番時の通信状況のモニタリング等を JGN2 NOC に依頼した。

伝送データ：DVTS/ポリコム(バックアップ)映像の双方向転送(約30Mbps×2)、講演資料用専用端末データ転送(約1Mbps)。

(4) 実施の評価

当初日本からイタリアへの通信はアメリカ(Internet2)経由で行ったが、Dante Project(欧州)からの要請により、シンガポール(TEIN2)経由に変更した。その結果 IPv4/IPv6 いずれにおいても、RTT は約300ms から約280ms に、Hop 数は21Hop から10Hop に改善した。本シンポジウムにおける、DVTS のパケットロスやコミュニケーションに支障がでるような遅延は無し。及び、講演資料用専用端末のデータ転送に問題なし。(Internet2 経由でも TEIN2 経由でも、結果は同様)リハーサル時点で、音響のエコー問題が発生(日本側で発生)しましたが、システム構成、運用方法にて対策し、本番は問題なく対応できました。

(6) 申請者(イベントの責任者)

所属機関(※)：(株)日立製作所

開催模様

<日本会場>



<イタリア会場>

